

人魚伝説の上越・鵜の浜温泉海岸

「恋人の聖地」認定

人魚伝説で知られる上越市大潟区の鵜の浜海水浴場が「鵜の浜温泉海岸」という名称で「恋人の聖地」に認められ、3日、砂浜に認定プレートが設置された。

地元の温泉街では「伝説を核に若い観光客を呼び込みたい」と歓迎。バレンタインデーを前にした7日には「恋活（こいかつ）イベント」を開く。

「恋活」後押しなるか

「恋人の聖地」は、NPO法人地域活性化支援センター（静岡市）が「プロポーズにふさわしいロマンチックなスポット」として認定している。現在全国に131カ所あり、県内では湯沢高原アルプの里（湯沢町）、月岡カリオンパーク（新発田市）、瀬波温泉海岸（村上市）と合わせ4カ所になる。

鵜の浜温泉海岸は、地元の鵜の浜温泉観光組合などが「聖地」への認定を目指し、市の地域活動支援事業を活用して昨年、同NPO法人に申請書を出した。

7日にイベント企画

人魚伝説や日本海に沈む夕日の美しさなどをアピールし、1月に認められた。

組合は3日、海岸にある人魚像の隣に「聖地」をうたう金属

プレートを設置。佐野正典組合長は「カップルなど若者へのPRに力を入れる」と意欲を語る。一方、人魚の伝説は悲恋と

の結末は悲恋でも、恋は恋。幸せな物語をこれから作ればよい」と前向きだ。



大潟区の人魚伝説 大潟区雁子浜の若者と、常

若者も追って海に身を投げた。悲劇を哀れんで村人が作った塚

を食べたり、海岸を散策したりする予定。対象は25〜45歳の男女各15人。男性5千円、女性千

別は婚約者があり、ある晩、そのために常夜灯の婚約者と過ごすため常夜灯の明かりをつけずにいた。そのた

く人魚のモデルとされる。

く5時。温泉街周辺でスイーツを食べたり、海岸を散策したりする予定。対象は25〜45歳の男女各15人。男性5千円、女性千円。申し込みは5日まで。問い合わせは湯元館酔洋、0120



「恋人の聖地」として「鵜の浜温泉海岸」に設置されたプレート＝3日、上越市大潟区

くる大潟区地域協議会では「どう整合性をとる